

できるだけ削らない治療

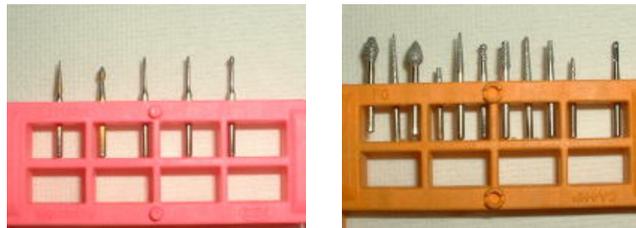
● MI コンセプトってなに？

2000年、FDI (Federation Dentaire Internationale) が提唱した新しい予防的な治療の概念 (Minimal Intervention) で、「**最小の侵襲**」と和訳されています。

具体的には、虫歯のメカニズムを理解したうえで、正しい診断による治療計画に基づき、**できるだけ歯質の侵襲の少ない処置を行う**というものです。そのためは、患者さま個人のリスクを把握し、継続的に健康管理を行うことがきわめて重要です。

● MI を成功させるために・・・

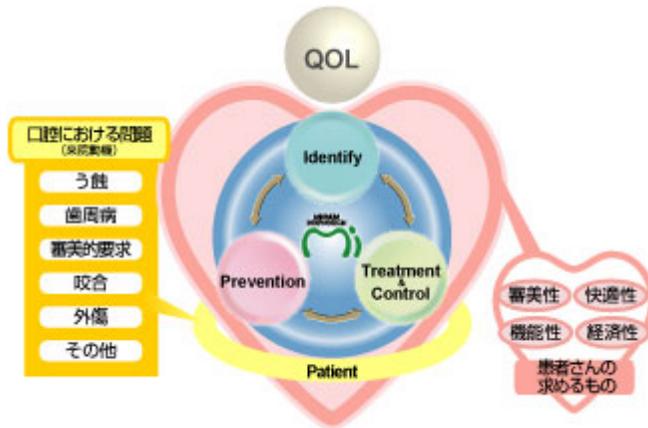
「**可能な限り健康な歯質を残す**」という、MI を成功させるためには、歯科医師の深い理解と、専用の器具が欠かせません。以下のような器具を用いて、MI を実践することができます。



「MI コンセプトバー(左)と従来のFGバー(右)」比較すると、MI コンセプトバーはより小さく、より操作性の良い器具であることがわかります。

● 進化するMI コンセプト

MI コンセプトに基づく、**Identify** (診断) **Prevention** (予防) **Treatment&Control** (処置・管理) の3つのアプローチは、初期ムシバ以外の分野でも生かすことができると考えています。MI の基本は、すべてのケースのすべての段階で原因とリスクを正しく診断し、健全部位をできるだけ残す“**最小の侵襲**”を心がけることです。しかし、**最小の侵襲を心がけるあまり、審美的ではなく、そのことで患者さまにストレスを与えてしまったりは良くありません。**患者さまの要望をうかがいながら、より健全部位を残す良い方法を検討し、導いていくことが大切です。そして、口腔に問題を抱えた患者さま (Patient) だけではなく、健康な人々 (Public) も将来なり得る疾患の罹患リスクを診断 (Identify) し、予防 (Prevention) 的な処置 (Treatment) により、**現在の健康を維持・管理 (Control) していくことが理想**だと思われます。



● MI の症例



「**術前**」
黒い部分が虫歯。従来の治療だと大きく削って、銀歯を入れなければなりません。



「**虫歯除去**」
MI コンセプトバーで、健全な部位を可及的に残しつつ、虫歯だけを選択的に除去します。



「**術後**」
フロアブルレジンを流し込み、調整して終了です。見た目もきれいですね！

お大事になさってください。